

幹事

遠藤 正明

各委員会が、今年度クラブテーマ「Let's Make The Best Better 前へ!」に則り充実した事業を展開できるように、共に行動して参ります。また今年度は、地区補助金を頂戴して社会奉仕事業を行ないます。会員全員が関わりロータリーらしい社会貢献活動になるようにして参ります。

そして、歴史と伝統ある山形西ロータリークラブの幹事として、気を配り有意義な1年になるように務めていきます。

会計

会計 海和将浩 副会計 武田朋広

今年度のクラブ方針と予算に基づいた資金管理を行い、円滑な事業運営が出来るよう迅速かつ厳正に対応してまいります。

会計管理にあたり、下記の点についてご理解とご協力をお願い致します。

1. 会費納入は、下記の納入期限を厳守いただきますようお願い致します。

前期分 令和2年7月31日

後期分 令和3年1月31日

2. 予算内での事業遂行をお願いし、支払の申請については、請求書又は領収書を幹事宛に提出してください。
3. 支払執行については、原則として月末締め、翌月10日頃とさせていただきます。

S.A.A.

S. A. A. 早川 徹 副S. A. A. 武田 秀和
副S. A. A. 長岡 壽一 副S. A. A. 伊藤 歩
副S. A. A. 及川 善大

会長方針に則り、例年通り会員の皆様よりご出席いただけるような和やかな雰囲気の例会を開催します。但し、新型コロナウイルス感染症の問題も考慮しつつ、会員の皆様の健康を第1に状況に沿った例会の設定・運営に努めてまいります。

会場入り口でのご挨拶、スムーズな例会の進行、季節を感じられるお食事等に配慮してまいります。

会場内禁煙は継続させていただきます。

クラブ管理運営常任委員会

理事・常任委員長 市村清勝

「Let's Make The Best Better 前へ!」というテーマのもと、現状に満足する事なく常に変化し、高みを目指すよう4つの委員会が協力して推進してまいります。

1. 出席委員会は、更に高い出席率の達成。
2. 親睦・家族委員会は、会員と家族が更に楽しめる企画。
3. プログラム委員会は、例会の中身が更に充実する卓話。
4. 友好クラブ委員会は、地区内クラブの周年事業への参加。

出席委員会

委員長	佐藤英一	委員	小松公博
副委員長	新藤幸紀	委員	横山隆太
		委員	長谷川浩一郎

会長方針に則り、実出席者65人、年間出席率95%を目標に出席を促進していきます。また、年2回の100%例会を設定致します。

RI理事会の新型コロナウイルスに関する決定に従い、無理のない例会出席への勧奨と例会長期欠席者への資料送付等の対応を行います。

親睦・家族委員会

委員長	三 沢 大 介	委 員	酒 井 政 輔
副委員長	三 澤 裕 一	委 員	佐 藤 信 勝
		委 員	伊 庭 公 也
		委 員	三 浦 達 雄
		委 員	武 田 朋 広
		委 員	小野木 健 治
		委 員	渡 辺 隆 博

会員ならびにご家族の親睦がさらに深まるようなイベントを企画していきます。

- ① 会員並びに奥様誕生日紹介
- ② 奥様への誕生日プレゼント（お祝いの花）
- ③ ビアパーティー （7月13日）山形グランドホテル
- ④ 芋煮会 （9月14日）千歳館
- ⑤ クリスマス家族会 （12月14日）山形グランドホテル
- ⑥ 新年会 （1月18日）千歳館
- ⑦ 観桜会 （4月19日）千歳館
- ⑧ 最終例会 （6月28日）パレスグランデール

プログラム委員会

委員長	鈴 木 謙 司	委 員	遠 藤 栄 次 郎
副委員長	大 城 誠 司	委 員	岡 田 宏 道

各方面で活躍している方の卓話を中心に会員卓話・米山奨学生の卓話、さらに職場訪問を組み入れ会員にとって有意義なプログラムにしていきます。

友好クラブ委員会

委員長	富田浩志	委員	酒井啓孝
副委員長	宇佐美俊治	委員	柴田健一
		委員	小林廣之
		委員	川辺智之

今年度は、100年に一度といわれる程の世界的なコロナショックが、日本中にも強い影響を与えています。

したがって、今年度の友好クラブの活動は大きなことはなく、水面下で静かに活動しようと思います。

会員増強常任委員会

理事・常任委員長 東海林 健 登

当常任委員会は、「職業分類・会員選考委員会」「会員増強委員会」「ロータリー情報委員会」の三つの委員会で構成されています。

佐藤会長のクラブテーマ「Let's Make The Best Better 前へ」の精神のもと、会員の皆様方には、ロータリー活動がもっと好きになりますよう、多種多様な情報を提供しそして、会員数を増加することに力を入れてまいります。

皆様一年間宜しく申し上げます。

職業分類・会員選考委員会

委員長 半 田 稔 委 員 鈴 木 浩 司
副委員長 小 林 恵 一

1 職業分類

ポール・ハリスは、ロータリークラブの創設に当たり、同業者同士は、表面上は仲良く付き合い合っているように見えても、自由競争社会の中ではライバル関係にあり、腹藏なく語り合うことはできないと考え、一業種からは一人の会員だけを募る、との方針を定めました。

現在は当時のシカゴとは事情が異なり、同業種は競争しているばかりではなく、協力してその業種全体の発展を図り、また共同で事業を行なうこともあり、同業者間で親睦を図れないという状況にはありません。

しかしながら、同業者とは業界団体などで親睦を図る機会が多くあり、自分が知らない他業種の方と交流できるというのが、ロータリーの魅力の一つです。それゆえ、数多くの業種の方に入会していただくといった観点から、定款上会員を職業により分類することになっています。当委員会は、現在の職業分類が適切なものかを検証していきます。

また、会員を職業により分類するということは、会員のいない職業分類から新たに会員を募ることが望ましいということの意味します。したがって、今までの職業分類にはなかった、新たに社会に認知されるようになった職業分類を追加していくことも必要であると考えております。

2 会員選考

会員増強は、当クラブの存続、発展のために必要不可欠なことであり、当委員会も、会員増強委員会と協力して、会員候補者の発掘に努めます。

しかしながら、定款及び細則上、善良、高潔、リーダーシップ、評判、奉仕の意欲、といった資格要件が定められており、当委員会はその点の審査が求められていると考えておりますので、その役割を果たしてまいります。

会員増強委員会

委員長 武田博文 委員 伊藤義彦
副委員長 吉田福平 委員 武田周治
委員 坂部登門
委員 浦口太門

佐藤会長が掲げられた会員数100名復活を達成、近付けられるように努めます。

本年度委員の皆様は経験豊富な方々ばかりですのでご指導をいただきながら、また、当会会員の皆様のご理解、ご協力をいただきながら活動して参ります。

皆様からの情報のご提供、ご協力を宜しく御願ひ申し上げます。

ロータリー情報委員会

委員長 五十嵐 信 委員 海和浩運
副委員長 菅原茂秋

佐藤会長のテーマが全会員に適切に浸透するよう、ロータリー情報を提供して参ります。

会長の肝煎の「ロータリーの友」への投稿を会員に呼びかけ、他クラブ、地区行事を適宜紹介し、会員が自主参加できるように努めて参ります。

以上を念頭に下記事業を開催します。

- 1) 入会前の新入会員候補者に対し幹事と共にオリエンテーションを行い、ロータリーの目的、会員の特典と責務を説明します。
- 2) 新入会員及び経験の浅い会員とのファイアースイドミーティングを開催します。
- 3) 県外出身会員との親睦・情報交換のために西山会を開催します。

クラブ広報常任委員会

理事・常任委員長 浦山 潔

佐藤章夫会長のクラブ方針を踏まえ、クラブ広報常任委員会は、山形西ロータリークラブの活動を支え、対外的にアピールしサポートする委員会として行動します。

◎会報委員会は、例会や例会以外の諸行事・ロータリーに関するいろいろな情報を提供し楽しんで見てもらえる会報の誌面にさせていただき、正確な記録として残してまいります。

◎広報雑誌委員会は、「ロータリーの友」に興味を持って頂けるよう記事の紹介やクラブ活動の投稿、対外的にメディアを利用した広報活動をいたします。

◎史料管理委員会は、70周年にむけた準備がここ数年で管理システムが構築されているようですので、前任者との引継ぎを行い史料の整理保存をしております。

会報委員会

委員長	長岡 勲	委員	庄司 時雄
副委員長	高橋 勝治	委員	高橋 昌之
		委員	藤田 良仁
		委員	曾根 賢治
		委員	佐竹 耀光

2020-2021年度の会報委員会は、佐藤会長の方針である「前へ」を意識しながらビジュアル感覚を多用した、楽しく読み易い誌面作りを心がけてまいります。

また、例会欠席者の貴重な情報源として、更には後世への貴重な資料として十分対応できる会報作りを目指して頑張っております。

広報雑誌委員会

委員長	原田 久雄	委員	結城 和生
副委員長	飯田 喬之		

2020-2021年度の当委員会は、会長方針に則り、山形西ロータリークラブの活動を広く世間に認知していただけるような委員会並びに会員の皆様に協力を頂戴しながら委員会活動を行ってまいります。

○「ロータリーの友」の記事紹介並びに記事投稿

○メディアの活用

史料管理委員会

委員長 鈴木 隆 一 委員 中山 眞 一
副委員長 尾 形 亨

佐藤章夫会長は「理念と方針」の中で、ロータリーの長所とは長年にわたり組織の末端まで運動と事業の「統一性と純粋性」を保持し続けていることだと指摘されました。草創の理念を正しく伝えるためにメンバーの意思統一の機会を常に持ち続けていることは、まさしくロータリーの大きな特色であります。国際ロータリーや2800地区のみならず、山形西RCが今後も統一性と純粋性を保持できるよう、史料管理委員会の役割をしっかりと果たしてまいりたいと存じます。

活動計画

1. 2019-20年度委員会との引継ぎ及び課題の確認
2. クラブ創立70周年に向けての史料の整理・保存
 - ①会報の保存
 - ②会報に掲載されない情報の保存
 - ③これまでの整理・保存の内容と方法の確認
3. 2021-22年度委員会との引継ぎ

職業奉仕常任委員会

理事・常任委員長 安部 弘行

ロータリーの目的は、日々の仕事を通して世の中に貢献するために、奉仕の心を育て向上させることです。奉仕とは他人のために何かをすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行なうことです。ロータリーの目的は、職業を通して社会のいろいろなニーズを満たすことということになります。

ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めています。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。私たちが真のロータリアンであるか否かは、会員自身とその職場が社会の模範となるように努力することを自己の責務と考えているか否かにかかっています。

今年度も移動例会（職場訪問）を通し、ベンチマーキングすることにより自社の改善に活かしながら、各種交流会を通し親睦を深め、ロータリアンとして「職業奉仕」をより理解し実践できる様に活動して参ります。また他にも新たな会の立ち上げの要望があれば応援して参ります。

職業奉仕委員会

委員長	佐藤	啓	委員	千歳	貞治郎
副委員長	松原	洋	委員	大沼	俊彦
			委員	勝部	一成

アフターコロナを見据え、デジタルトランスフォーメーション（DX）によるsociety5.0の推進やSDGsの実現に向けた社会課題の解決にチャレンジする企業・団体の取り組みを見学し、今後の企業活動のあり方を学ぶ機会とする。

1. 職業奉仕移動例会の企画検討
2. 職業奉仕移動例会の開催

職業交流委員会

委員長 橋本徳光 委員 小山陽
副委員長 高橋順弘 委員 酒巻雅樹
委員 横沢善則

職業交流委員会は、会員相互の交流を深めていただく事を目的に、下記日程にて球風会・西風会を企画させて頂きました。多数のご参加をお願い申し上げます。

1. 令和2年9月27日（日） 球風会ゴルフコンペ 山形ゴルフ倶楽部
2. 令和2年10月11日（日） 7RC対抗コンペ 山形蔵王CC
3. 令和3年2月～3月 西風会を予定しております。
4. 令和3年4月18日（日） 球風会ゴルフコンペ 山形蔵王CC
5. 写楽クラブの企画や運営をサポートいたします。

奉仕プロジェクト常任委員会

理事・常任委員長 遠藤 靖彦

当常任委員会は、社会奉仕委員会・ニコニコボックス委員会・青少年委員会の3つの委員会から構成されています。

佐藤会長の思いのある市民社会の役に立つ社会奉仕事業の検討と実行を行ってまいります。又、青少年委員会においては、留学生の受け入れ対応を含め、山形大学との連携をとり、山形西ロータリーの青少年育成事業を進めてまいります。このような奉仕活動の大きな財源となるのがニコニコボックスです。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー活動の大きな意義である奉仕活動を3つの委員会の連携のもと一年間推進してまいります。よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会

委員長 武田 良和 委員 清野 伸昭
副委員長 長澤 裕二 委員 角田 健

～元気なロータリー活動を実践します～

国恒例となっております市内清掃ボランティア（清掃場所検討中）

今回は子ども達と協働で行いたいと思います。

国際ボランティア団体の講師例会を開催します。

ニコニコボックス委員会

委員長 西谷 真一 委員 吉田 昌弘
副委員長 澤渡 章 委員 佐藤 淳
委員 高嶋 俊幸

会員皆様に関係した様々なニュースをお気軽にニコニコボックスにお寄せ下さい。

喜ばしい事や感謝の思いをご披露させていただき例会に笑顔の花を届けられたらと思います。昨年度同様に、FAX・メールでの受付も致しますので、便利にご利用なさって下さい。

山形西ロータリークラブ事務局 FAX. 023-624-5200 E-mail. yamagata-w09@rid2800.jp

青少年委員会

委員長 後藤 章 洋 委員 平 吹 和 之
副委員長 鏡 武 利 委員 石 山 茂 利

次代を担う青少年を育成・支援をして参ります。

1. 山形市中高生英語弁論大会への支援継続
2. 山形大学若手研究者の支援
3. 米山奨学生を定例会や各イベントへ招待し、会員との交流機会を創出

コロナの終息が見えない状況ですので、都度調整しながら活動してまいります。

ロータリー財団・米山奨学会常任委員会

理事・常任委員長 戸田正宏

この委員会は最も重要、かつ皆さんからのご理解、ご協力があればこそこの委員会です。

ロータリー財団や米山奨学会は、私達一人一人の善意で成り立っています。理想や理屈ではご理解いただいていると思いますが、寄付をお願いする立場となれば、どうしても遠慮がちになり、少し尻込みしてしまいます。

でも、この寄付行為はロータリー活動の中で尊いものであり値打ちがあります。皆さんの積極的な善意をお待ちしております。

今年度の数値目標は

ロータリー財団 150ドル／1人

米山奨学会 15,000円／1人

また、本年度は米山奨学生の世話クラブとして後藤章洋会員がカウンセラーとなりベトナム出身のチャン・ダンさん（山大工学部）をお迎えしています。ご支援をお願いします。

ロータリー財団委員会

委員長 東海林 仁 委員 細谷 伸夫
副委員長 岡崎 重知 委員 佐藤 茂雄
委員 武田 元裕

ロータリー財団の使命は「ロータリアンが恵まれない人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通して、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。」ポリオ撲滅運動はもう一步のところまでポリオを追い詰めました。

こうした活動や補助金を実現させているのが、皆様からのロータリー財団への寄付金です。

目標である1人150ドルのご寄付のご理解をいただき推進に努めます。

米山奨学会委員会

委員長 芦野 茂 委員 長谷川 浩 二
副委員長 佐藤 充 昭 委員 米本 満
委員 堀田 稔

公益社団法人ロータリー米山奨学会は、半世紀以上の歴史を持つ日本最大の民間国際奨学事業となりました。その財源は、会員の皆様からの寄付が支えているのです。

寄付増進によって奨学生数の増加、それによって奨学会事業の理解促進というサイクルが、回って行きます。

これにより今年度から、世話クラブとして奨学生を受け入れる事ができました。

これも会員皆様の寄付から成り立っております。

今年度も、その意義と社会貢献についてその趣旨をご理解いただきご協力をお願い致します。

※年間会員一人15,000円（うち特別寄付10,000円）を目標とし寄付をお願い致します。

※米山奨学会の趣旨をご理解いただくため、米山月間におきましては、米山奨学学友委員会よりゲストをお招きして、例会における卓話を予定しています。